

(個人)

(報告：申)

山 行 報 告 書

山(山域・ルート) 北アルプス 涸 沢 岳 (3,110m)

【日 時】2014年4月26日(土)～4月28日(月)(2泊3日)

【メンバー】

平野(L)、石毛、申(記)

(計 3 名)

【行動記録】

4/26(土) 5:00 太宮 → 9:30

沢渡駐車場 → 10:30 上高地

→ 14:00 横尾(テント泊)

4/27(日) 5:20 横尾 → 9:30

涸沢(テント設営・食事) →

11:00 出発 → 13:00 穂高山

荘 → 13:30 涸沢岳 →

15:00 涸沢岳(テント泊)

4/28(月) 5:10 涸沢 → 7:30

横尾 → 10:00 明神池 →

11:40 上高地 → 12:10 沢渡

駐車場 → 入浴・食事 → 18:00

太宮着

上り約10時間 下り約6.5時間

【装備・食料等】

共同装備... テント(2人用・1人用)、銀マット、コッペル、コン

ロ×2、スコップ、スノーソー

共同食料 1泊目夕食：キムチ鍋、

2泊目夕食：おでん鍋



【感想】

(上高地～横尾)

ゴールデンウィークとは思えないぐらい、人の通りが少ない。3H程度続く林道は、サルが多い。食べ物探しに夢中で通り過ぎる人間には興味がない様子。道に雪は全く残っておらず、雪山用の靴では歩きにくい。



(横尾～涸沢)

1Hほど歩いた「本谷橋」から本格的な雪道のため、アイゼンを着用。それほど急な斜面はなかったが、朝の気温がさほど下がらなかったためか、雪が柔らかく、踏み抜きが多い。雪崩の跡が数か所、見受けられたが、この時期は雪崩の恐れはないという。涸沢では、山開き初日の朝にも関わらず、すでにテントが約100張り近くあり、涸沢の人気を物語っていた。



(涸沢～涸沢岳)

急な斜面、気温上昇に伴う踏み抜き頻発、急な悪天候。3日間快晴が続いている中、穂高山荘～涸沢岳間での1.5Hだけが濃いガス・雪で視界が悪かった。

尾根では雪が固く、歩きやすかったが、地面が露出している箇所があり、アイゼン歩きには一歩一歩が慎重になる。涸沢への帰り道は、お尻で滑ったので、30分で到着。(ここが一番楽しかった瞬間かも?)

今般の山行は、混雑もなく、好天に恵まれ、それほどつらい思いもせず、初めてのアルプス歩きを楽しむことができた。ただ、次から紫外線対策だけは忘れないようにしたい。

